

【評価基準表】

項目		評点	基準
1	規模・方法の妥当性	4	事業の規模・方法について対象者等の具体的ニーズに基づき、適宜見直しを行っている。もしくは、現段階では改善すべき点がない。
		3	事業の規模・方法について適宜見直しを行っている。
		2	事業の規模・方法について過去に見直しを行ったが、まだ改善すべき点がある。
		1	事業の規模・方法について事業開始当初から見直しを行っていない。
2	公平性	4	対象を限定していなく、使用料及び負担金等の受益者負担を徴する必要がないと判断される事業である。（税負担が妥当な事業である。）
		3	対象が限定されており、使用料、負担金等の受益者負担を徴している事業であり、受益者負担額が適切な事業である。
		2	対象が限定されており、使用料、負担金等の受益者負担を徴している事業であるが、受益者負担額の見直しを行っていない事業である。
		1	対象が限定されており、使用料、負担金等の受益者負担を徴すべき事業であるが、受益者負担を行っていない事業である。
3	効率性	4	単位コストが低下傾向である。
		3	単位コストが維持または上昇傾向であるが、適時、単位コストの低下につながる取組みの見直しを行っている。
		2	単位コストが維持または上昇傾向であるが、単位コストの低下につながる取組みを行っているが、見直しを行っておらず、効果が生じていない。
		1	単位コストが維持または上昇傾向であり、単位コストの低下につながる取組みを行っていない。
4	成果目標達成度	4	成果指標の達成度が75%以上である。
		3	成果指標の達成度が50%以上75%未満である。
		2	成果指標の達成度が25%以上50%未満である。
		1	成果指標の達成度が25%未満である。 または、成果指標を目的（意図）の達成状況を把握するためのものに再検討を要する。
5	活動目標達成度	4	活動指標の達成度が75%以上である。
		3	活動指標の達成度が50%以上75%未満である。
		2	活動指標の達成度が25%以上50%未満である。
		1	活動指標の達成度が25%未満である。 または、活動指標を成果を達成するための手段として再検討を要する。